

SPODフォーラム2011アンケート(web全体用)集計結果

- 参加者数(うち、遠隔講義受講者数):525(58)名
 SPOD加盟校から:409(58)名
 SPOD加盟校以外から:116名
- アンケート回答者数:260名
- 回答率:49.5%

1. SPODフォーラムについて

SPODフォーラムをどこで知りましたか？(複数選択可)

	度数	割合
① SPODホームページ	56	21.5%
② SPODメールマガジン	21	8.1%
③ SPODフォーラムチラシ	94	36.2%
④ SPOD研修プログラムガイド2011	54	20.8%
⑤ SPOD関係者からの案内	118	45.4%
⑥ その他	42	16.2%
アンケート回答者数	260	

その他の記述内容

- ・学内(職場)からの案内(25)
- ・上司からの案内(5)
- ・参加経験者から(4)
- ・同僚からの紹介(2)
- ・参加予定者から(1),自身がSPOD担当者である(1),若手勉強会に活用したいため(1),興味があったから(1),スタッフポートフォリオについての実例を知るために(1),以前のプレゼン資料がWeb上で掲載されていたため(1)

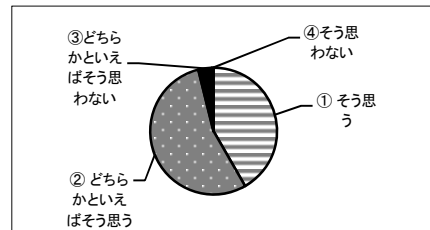
SPODフォーラムに参加した動機は何ですか？(複数選択可)

	度数	割合
① 自分自身の能力開発のため	183	70.4%
② 組織の課題を解決するヒントを得るため	102	39.2%
③ 組織を超えた人脈づくりのため	46	17.7%
④ FDやSDに関する情報収集のため	102	39.2%
⑤ 上司に参加をすすめられたため	64	24.6%
⑥ その他	0	0.0%
アンケート回答者数	260	

2. SPODフォーラムでの研修成果について

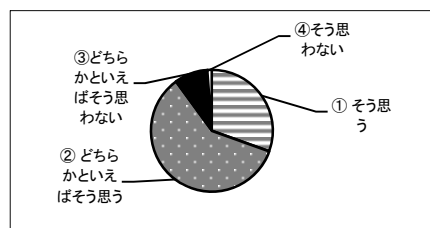
自分に必要な知識やスキルを身につけることができた

	度数	割合
① そう思う	108	41.7%
② どちらかといえばそう思う	141	54.4%
③ どちらかといえばそう思わない	9	3.5%
④ そう思わない	1	0.4%
計	259	100.0%



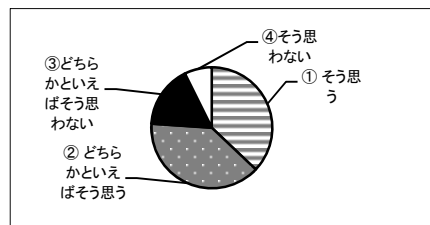
所属組織の問題解決に役立つ情報を入手することができた

	度数	割合
① そう思う	79	30.5%
② どちらかといえばそう思う	154	59.5%
③ どちらかといえばそう思わない	23	8.9%
④ そう思わない	3	1.2%
計	259	100.0%



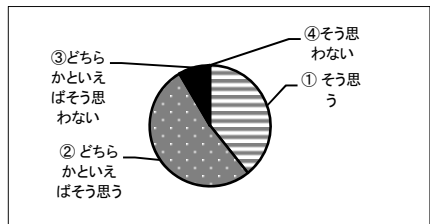
組織を超えた交流を持つことができた

	度数	割合
① そう思う	96	37.1%
② どちらかといえばそう思う	101	39.0%
③ どちらかといえばそう思わない	43	16.6%
④ そう思わない	19	7.3%
計	259	100.0%



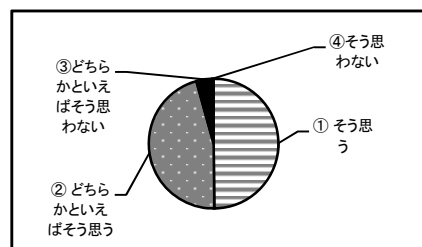
フォーラムで学んだことをすぐに職場で実践したい

	度数	割合
① そう思う	102	39.2%
② どちらかといえばそう思う	136	52.3%
③ どちらかといえばそう思わない	21	8.1%
④ そう思わない	1	0.4%
計	260	100.0%



SPODフォーラムは全体的に満足できる内容であった

	度数	割合
① そう思う	128	49.8%
② どちらかといえばそう思う	118	45.9%
③ どちらかといえばそう思わない	10	3.9%
④ そう思わない	1	0.4%
計	257	100.0%



3. 感想、ご意見、ご要望等（別紙参照）

4. 参加者ご自身について

所属先

	度数	割合
① 4年制大学	229	88.1%
② 短期大学	22	8.5%
③ 高等専門学校	8	3.1%
④ その他	1	0.4%
計	260	100.0%

その他の記述内容

- ・ 法人本部

所属先の設置者

	度数	割合
① 国(国立大学法人)	98	37.8%
② 地方自治体(公立大学法人を含む)	24	9.3%
③ 学校法人	135	52.1%
④ その他	2	0.8%
計	259	100.0%

その他の記述内容

- ・ 国立高等専門学校機構(2)

所属先の所在地

	度数	割合
① 四国	179	68.8%
② 東北	2	0.8%
③ 関東	15	5.8%
④ 中部	10	3.8%
⑤ 近畿	22	8.5%
⑥ 中国	24	9.2%
⑦ 九州・沖縄	7	2.7%
⑧ 北海道	1	0.4%
計	260	100.0%

職種

	度数	割合
① 教員	100	39.1%
② 職員	156	60.9%
③ 学生	0	0.0%
④ その他	0	0.0%
計	256	100.0%

あなたはFDまたはSDの実施担当者ですか？

	度数	割合
① FDの実施担当者	62	23.8%
② SDの実施担当者	23	8.8%
③ FDとSD両方の実施担当者	14	5.4%
④ FDやSDの実施担当者ではない	161	61.9%
計	260	100.0%

SPODフォーラム自由記述欄 良かった点とりまとめ

【内容について】

- 大人数講義法の基本について、学生の心理やデータから具体的に解説していただき、参考になりました。
- 説明がわかりやすく、授業改善に向けての具体的なノウハウを習得できた。(5)
- 日常の業務について改めて見直す機会となったことは良かった。(4)
- 様々な大学や高等教育機関の取組を知ることができた。(12)
- 自分がこれまで行っている講義法などが間違っていないことが確認できた。
- 授業や業務においてすぐに使える、知識やスキルを身につけることができた。またさまざまな立場の方と交流することができた。
- 講座に参加すれば、少し興味はあるがあまり積極的には関心がないことでも一通りのことは理解できる機会となる点がいいと思います。
- シンポジウムで文科省担当官から直接考えを聞くことができた。
- 諸星先生のご発言に勇気づけられました。学生達を、いかに本質を見据え将来を担う自立した人間に育てるべきか、教えていただきました。
- ひとつの授業の中にいろいろな仕掛けを入れること、そして、そのためには綿密な授業設計が必要であるということがよく理解できました。
- 実践的で、すぐに役立たせることができる研修であったことがよかった。(15)
- ワークショップ形式で研修が進められるので積極的に参加しているという満足感が得られました。また他大学の方と交流や意見交換ができ有意義でした。(22)
- ケーススタディにおいて、具体的な案件について考えることが参考になりました。
- 全体の企画・運営がすばらしく、現地でストレスを感じる事が一切ありませんでした。また、企画内容についても各大学で課題とされている内容をふまえた研修プログラムが実施されており、満足のいくものでした。
- 講師の方々の密度が濃く信念に満ちた講義を受けて、自分も頑張るぞとやる気が出た。愛媛大のFDの質の高さが存分に発揮されたように思う。
- 所属組織のFDの推進、ならびに個々のプログラムの実施に関して、大いに参考になった。ワークショップの内容だけでなく、その進め方も大いに参考になった。
- プロセスや質の評価を重視するルーブリック評価が大変参考になった。
- 講師のお話からも最新の情報が入手できた(ハンドアウトやスライドになかった情報)。
- 障がい(特に聴覚障がい)学生支援に関するFDに参加したが、実際に聴覚障がいの体験をしたり、ノートイクを実践したりして、聴覚障がい学生支援の現状と課題を体得できたことが、一番の収穫であった。
- 授業に関して同じ悩みを持つ先生方とSPODで学び、その解決法を話し合うことができ有益でした。
- 研修の中身がとても参考になりました。講師の先生方のお話しはもちろん、ワークショップの中でも様々な分野や立場の方と意見を交わしながら他校の取り組みを具体的に知る機会が多かったので、自校に生かすヒントが得られ、刺激を受けました。ワークショップは参加する前は緊張したのですが、講師の先生の進め方がうまく、楽しく充実した時間となりました。

- シンポで大学設置基準に「情報の積極的な公表」が規程された意図を聞くことができたこと。
- 学生参加型の授業のコツが少し体得できた。(3)
- 他大学, 多職種のプレゼンテーションは参考になった。
- 医療関係の教員の評価方法については具体例が提示されてよかったと思う。
- アメリカのトレーニングプログラムを学ぶことができた。
- 具体的な参加者主体のアクティビティ, たとえばグループリーダーの活用, オープニングとクロージングの意義などの体験を通じて納得できる活動がたくさんあった。
- 考え方や方法論だけでなく, 実績に基づく裏付けもあり, 説得力がありました。
- 実習評価方法について, 正直ある程度は自分一人で任されていることもあり, 評価の方法や視点がこれでよいのか悩むこともある。今回, 各大学の先生方の評価方法や評価の視点を学ぶことができてよかった。
- 危機管理, 情報公開等に関する最新の知見に接することができた。
- グラフィックシラバスや, 学生主体の授業のすすめ方など, 新しいスキルについて学ぶことができました。学生支援に携わる他大学の教職員の方々と情報交換できたことは良かったです。
- ワークの手法や, SDについての考え方など, 知らなかった内容を知ることができたこと。
- シンポジウムが大変わかりやすく良かった。
- トップリーダーセミナーにおいて, 今, 私たちがなすべきこと(一例: 「ミッションの明確化」など)を軽妙な語りで, また大変わかりやすく説明していただいたことが非常に有意義であった。残念なのが, フロアからの質問によって, 講師の話が途切れてしまったことが悔やまれる。
- 課題解決のヒントが得られた
- 日ごろ, 社会の要請に答えているとは思えない大学のマネジメントはおかしいと感じていたので, 諸星裕氏の話には共感できる内容だった。もっと話を聞きたかった。
- グループ討議の場合などアイス・ブレイキングを講師の方が心得ているので, 話題に入りやすく, 課題として考えていることを率直に討議できる。
- 自分自身の業務の改善に繋がるような内容で, 非常に勉強になった。(3)
- ラーニング・ポートフォリオについて, 学習機会やその成果を裏づける根拠の具体例を考えることができたこと。また, 他大学のそのシステムについての概要やその学生の感じ方について知ることができたこと。
- 組織人として, セクハラやコンプライアンスについての対応がわかった
- 現代社会の実状を把握する事ができた。(時代の変化)
- FDに関する授業評価や研究授業, 授業コンサルティング等について, 基本的な考え方や現状, 問題点がよく理解できた。何よりも, 演習等を通じて他大学の先生方と話し合う機会ができたのがよかった。
- 広報に関する講義を受講し, 効果的な広報の仕方を知ることができました。
- 今までいろんなフォーラムなどに参加していましたが, 検討できる要素を多く発見できたので, 考察など充実しました。
- 一つひとつのプログラムの精度(質)が非常に高く, どれをとっても満足のいく内容であった。
- 講師が実務担当の方であったため, 生の声を聞くことができたので良かった。
- プレゼンテーションについての講座が非常に有意義なものでした。

- 各講義の冒頭で必ず達成目標が示される点、座学だけでなくグループワーク等を交えることで参加者と自然に交流を図れる点、そして一番の特徴といえるFDとSDを融合させたプログラムを実施している点など、さすがSPOD、SPODならではの研修を体験でき、非常に有意義でした。
- スタッフ・ポートフォリオの講義に参加し、短い時間だったが、あらためて自身のキャリアについて考える機会が持てたことは非常に良かった。いつでも出来ることだが、機会があれば出来ないことなので、その仕掛けとしても、スタッフ・ポートフォリオは非常に有効だと思う。
- 今回、企画力ということで、別の研修でもやっていた手法を改めて違ったやり方で復習できたのでより身についたと思います。文字通りのたたき台でいいのだ、ということを確認できたのも良かったです。
- 今の業務に直接関係している内容ではないが、大学組織に携わる一人として知っておかなければならない内容で大変勉強になった。
- 学習評価、3つのポリシーの開発・構築、授業改善等、職務上、直面しているいくつかの課題について、今後、取組を進める上で非常に有意義な示唆をいただきました。講師の先生方、事務局スタッフの皆様に感謝申し上げます。
- CP、DPの策定作業を進めているところですが、ポイントを押さえた内容で解説をいただき、参考となりました。
- FD・SDの概念だけを学ぶのではなく、講師と受講者が双方向で作業・発言することで理解度が高められたことが良かった。

【その他】

- なかなか受講できない講師の先生の講義を聴講できたこと。(7)
- いろいろな大学の教員、職員と交流できたこと。(36)
- 一般教職員目線で研修プログラムが構築されていること、おもてなしの心配りがいつも感じられること、参加者の皆さんが前向きな姿勢であること
- FD/SDを中心とした自己点検自己評価の実際と、教育体制や教育体制改善あるいは教育システムの改善等に対するSPOD加盟大学の取り組みが、立体的に経験できたことが大きな収穫でした。またこうした取り組みは今後の大学のあり方と同時に、若手研究者を中心に徐々に進めていかなければならないことと、比較的年齢の高い教員からはかなり強い抵抗を受けるものであることも理解できました。こうした経験を本学のFDの進め方に活かしていけるという気持ちにさせて頂きました。有難うございました。
- 積極的な先生方と知り合いになることができた。
- 色々な知識・情報を得ることができた。(8)
- 各プログラムの内容も良かったです。個別に質問に行った際の講師の先生方の対応が丁寧かつ具体的で、大変勉強になりました。若い先生方もとてもよく勉強され、しかも実践的な解決策を教えていただいたので、感動しました。
- 現在のFDやSDの状況が把握できて、自分の職場で到達できていない点を確認できる。
- 四国の大学の先進的な取り組みが分かった事

- 多くのプログラムの中から、自分が関心のあるもの、所属組織に必要な内容のものを選択できる。同じプログラムの参加者は目標（求めているもの）が共通なので意見交換もスムーズに行うことができる。他機関の方と情報交換ができ、人脈が広がる。
- 他大学の情報収集ができ、交流が持てました。また、仕事を進めていく上で、知識を得ることができました。今後の仕事に大変プラスになり、大学職員としてのあり方を考える良い機会になりました。ありがとうございました。
- 大学職員とは何かということについて、ひとつのアプローチの方法を学ぶことができたこと。
- 四国内の大学をはじめ、日本各地の大学の方とも親しく意見交換することができ、本当に良かった。今回のフォーラムでは講師もつとめさせていただいたが、それも自分自身の非常に大きな学びになった。

【感想】

- 本学の教育コーディネーターとして必要な知識を得ることができた。
- 諸星先生の話など、視野が広がった気がした。
- 新しい知識を得ることは楽しいことだと認識できた。
- 業務に直結する内容ではなかった分、新鮮でよかったです。
- 日常業務がマンネリ化しているうえ、大学内でも他部署との交流があまりないため外部からの刺激が欲しいという感覚がありました。
- 普段では経験できないことが経験できて大変刺激的であった。
- グループワークを通してだんだんと自分の中で形が出来上がってきたような感じがします。
- そもそもSPODフォーラムの存在を知りませんでした。その存在を知ることができたことは有意義でした。また、参加者の意識も高く、こちらが反省してしまうくらいでした。そのため、私自信のSDやFDへの意識や興味は高くなりました。
- 大変勉強になった。（3）
- 日々の業務に負われ、スキルアップに関する内容や大学業界全体の動向について深く考える機会が中々なかったため、大変良い経験になったと思う。
- 知識のブラッシュUPの機会として有効だと思う
- 違う視点で考えることができて良かった。

SPODフォーラム自由記述欄 改善点とりまとめ

【開催時期について】

- 8月は一斉休暇等もあるので、できれば9月に開催して欲しい。(2)
- 夏休み中なので予定が組みやすくてとても良いです。今のままで十分です。(3)
- 4日間に盛りだくさんのセッションがあつて、とてもいいのですが、参加者からすると全日程に参加することは多少負担がかかる。(時間的,精神的)
- とても興味深いプログラムが多いので出来るだけ4日間とも参加したいと思つたが、平日開催の場合は難しい。できれば1日でも、土日の開催についてご検討いただきたい。
- 夏休み中も通信教育のスクーリングや試験の日程があり、その合間を縫つて参加できたので、日程や会場を年度当初の早い時期にお知らせいただくと助かります。

【会場について】

- 駐車場の確保、あるいは学外での便利な駐車場の案内があれば、助かる。(3)
- 初日、2日目は本当に教室が寒かつたです。
- 四国内の他大学に行つたことがないのですが、愛媛大は松山までの交通手段ならびに、大学が松山市内中心部に近いという点からも四国内では交通の便がよいのではないかと感じました。
- 会場については、愛媛大学のみならず加盟校で、持ち回りにしてもよいのではないかと感じました。(2)
- 教室によっては、PP(スクリーン)が見辛かつたり、機器の調整に時間を取られたりすることがあるので改善してもらいたい。
- フォーラムによっては会場が狭い場合があつたので、参加者が作業をするようなプログラムの場合は、広めの会場で行つたほうがよいと思つた。(2)

【シンポジウムについて】

- 概して良かったと思いますが、振り返つてみると、シンポジウムが今ひとつ期待外れでした。講師陣の個性が強すぎて、結局、まとめきれなかつた印象があります。答えありきの議論は無意味ですが、発言の方向性があまりに自由すぎて、最後は少々発散してしまつた感が否めません。(2)

【プログラムの内容について】

- 研修プログラム全体的に、グループワークの密さ・有益さに対して、口頭とスライドで説明される内容が少しおざなりにされている感じがしました。グループワークの内容は良く覚えているのですが、それと口頭で説明される内容のつながりがつけにくく感じ、思い返してみると全体として一体なんだったのだろうかと思う授業がいくつかありました。
- WS形式ならば、全員参加の企画にしてほしい
- 一部の講師の質があまりよくなくて、時間の無駄と感ずる局面もあつた。
- たとえば、聴覚障がい学生が日々の大学生活で感ずていること、改善を希望していること等を報告し、参加者が耳を傾ける機会があればと思う(もちろん、積極的に協力してくれる学生がいればの話ではあるが)。

- 毎年同じようなプログラムを提供すると、リピーターが参加すべきプログラムを見いだせないコマも出てくるのではないか。継続的に行うならば、多様なプログラム開設が必要になるように思う。(2)
- 未体験のスキルについては、スキルの説明だけでなく、教育のどのような場面で、どのように有効かの説明がしっかりしてほしい。
- フォーラムや研修を受けて、自分の授業や組織でどう実践しているか、実践報告会があってもいいと思います。SPODフォーラム期間中に実践報告会を設けてもいいと思います。
- FDとSDを明確に分けた方がより実践的かと思われます
- SDプログラムの種類が増えることを希望する。(3)
- タイトルが昨年と若干違うので内容も違うと思い受講したが、昨年と同じ内容のものがあつた。昨年の続きの内容(初級→中級)かと勘違いしてしまった。内容が同じであれば、できればそのことを明示していただければありがたい。
- 高等教育界を牽引するような新しい先進的な取り組みや、日本を越えた海外の動向に関する内容にも着目してほしい。

【プログラムの進め方について】

- 学生のプログラムがあつたが、大学混合グループでなかったためか、交流会でも同じ大学の学生が固まりがちだったように思います。せつかくの機会ですので、来年は所属・学年・学部等をバラバラにしてみるのもいいかもしれません。
- 中には、説明が丁寧でない講習もあつた。資料はふんだんに渡されたが、講習の中で丁寧に説明されることがなく、講習の席についている意義が半減との思いが残された。
- 評価の概要の説明が多く、実際の取り組み方やその結果がもっと具体例としてあればよかった。グループワークが多く、作業に時間を費やしてしまい、まとめが不十分であると感じた。
- 特にありませんが、若干盛りだくさんの内容になってしまつて受講者が消化しきれないことがあつたので、ある程度内容を絞っていただいてもいいように感じました。ワークをするプログラムが多く、それ自体はいいと思うのですが、講義が中心にならざるを得ない内容では、無理にワークを入れなくてもいいのでは、と思います。(2)
- ほかの参加者からの声で聞こえてきたのは、体験型がよい反面、同じような内容の繰り返しになっていて(「またKJ法みたいな」という声がありました)、深まりに欠けるところがありました。教材が練られていた分、惜しい声でした。
- 講義内で、小グループだけでなく、もっとたくさんの方と交流できればよかった。
- 2時間通しであつたので、途中5分程度の休憩を入れてもらおうと良かった。
- グループ討議が主体となる場合、テーマによっては、ある大学の人と一緒では話がしにくい、でもそのテーブルに行ってみないと誰と一緒にいるか分からないということもあるように思います。
- 研修時間が予定時刻を越えるのは良くないと思いました。
- グループワークに時間がかかり過ぎ、講義が十分でない内容のセッションがあつたように思います。(2)
- 今回初めて行われたラウンドテーブルについてはもう少し時間を取ってじっくりやってみたいと思いました。

- 班別のワーキングで役割を決める際、予め席順で決めておくと、研修がスムーズに進むと共に、普段引き受けられないような役を務めることができ良いのではないかと思った。

【プログラム個々の運営について】

- 講座の内容をシラバスのようにして事前に提示して欲しい。現在のものは内容まで書かれていない。(3)
- 遠隔地との同時参加についてはトラブルの無いように事前の準備をしっかりとしておく必要がある。
- 可能であればプログラム内容を選ぶ際の基準を記載いただけると助かる。(2)
- 参加者の問題事例など、事前に準備するよう案内があればより効果が上がったと思われる。

【プログラム全体の運営について】

- 同時間帯に、参加したい講義が複数あったとき、残念でした。
- 長ければいいというものではないと思うのですが、実際にGW等を行うと、話し合う時間が足りなくて、ものたりなく感じてしまうものばかりでした。(5)
- 一講義の時間を大学と同じく、1時間半でもよいかと思いました。(2)
- 休憩時間が30分もあるので、20分に短縮し、講義コマ数を増やしていただけるといいと思います。
- あと15分あれば一層充実できるかもしくは無駄な時間になるのか一度検討ください
- SPOD 加盟校以外も受講できるカリキュラムを増やしてほしい。
- 各プログラムの時間を長く、例えば午前1つ午後1つくらいの余裕をもった時間配分にしてほしい。(2)

【フォーラムの運営について】

- 講師と参加者、参加者同士の交流の時間がもっとあればよいと思う(6)
- 交流会の会費に対して、料理の貧弱さやまずさが納得いかなかった。会話が最高の料理なのでしょうが、それにしてもCO-OPの会場を使ってこれ?・・・とってしまいました。同意見の賛成が他にも何名もおられました。
- 設置形態別ランチセッションがなくなったのは、残念だった。
- 加盟校以外からの参加は参加費が必要だが、7,000円は高いように思います。
- 他の学会やフォーラムなどと比較しても、セミナーの運びなど運営について感心するところばかりで、私も運営する場合は参考にしたいことばかりでした。

【その他】

- 受講中の荷物置き場の案内。
- 自分の意識不足もあり、他機関の方々との交流には至らなかったもので、参加者にその辺りの注意喚起を事前にしたら良いかもしれません。(3)

- 講師の先生方がだいたいいつも同じで変化がないため、経験豊富な他の先生方の講義にしてもらいたい。
- 参加はしなかったが、サテライト開催もされていて、良かったと思う。
- FD については、実践的内容が多く含まれており、職場に持ち帰った際にも、すぐに活用できるものであった。
- WS 形式の研修は個人的に好きで楽しめましたが、WS をそのまま業務に持ち帰ることは当然ながらできません。持ち帰り可能なエッセンスをもう少し具体的に体感できるようなWS 内容があれば、そちらの提供をお願いしたいです。
- 校友会館の場所が分かりにくかった。配付冊子、プログラムに記載していただけると良いと思いました。
- 講師には、社会に揉まれ、経験のある企業の社長や人事担当者にやってもらった方がいい。大学の先生のユーモアやエピソードがつまらないので、もっと人に話を伝える方法を、こういう方達から学んだほうがいい。
- 可能であれば、セミナーごとの参加者名簿が配られるとありがたい。同じ教室にいても全員と名刺交換するのは難しいし、名簿があればとても助かる。
- とても大規模なフォーラムなので、開催日程が複数日に及ぶのは仕方ないとは思いますが、仕事を抜けて参加するため、受けた講義を絞らなければなりません。できればすべてに出席したかったです。
- 学内でスムーズに食事もでき、気分的な負担が少なく済みました。1人で初参加でしたが、参加しやすかったです。
- 名札がその場（受付）で手描き・・・これを名刺では？
- 付箋やとりのこ用紙を使った、言ってみればSPODらしいやり方だが。
- 日程、会場には特に要望はありません。（9）
- プログラムの都合で参加出来ないものもありました。撮影をしていらっしゃるようでしたが、映像をアーカイブスとしてあとで見ることが出来ると助かりますし、振り返りなどにも役立つのではないのでしょうか。
- 到達目標を高く設定しているため、研修の中ではその目標が達成できない点。研修の内容自体には満足をしているが、到達目標を掲げられると、期待を高く研修に望むため、残念感が否めない。
- 関西圏から10時の開始時間に間に合うように行こうとすると飛行機に乗ってもぎりぎりです。多分変更等は難しいと思いますが、面白いプログラムを諦めるのももったいないなあと。

SPODフォーラム自由記述欄 開講希望とりまとめ

【FD／SD】

- 学生対応や就職支援など、学生支援に関する内容のプログラムがあればと感じました。(6)
- 地域貢献, 社会に貢献できる専門的職業人の教育, 学生の社会性を涵養するための教育
- ハラスメント対策, ジェンダーギャップの問題等の人権問題に対応するための知識と態度を形成するような内容。
- 障がい学生支援を全学的にどのように行っていくのか, そのノウハウを具体的に情報提供してくれる研修プログラムがあればと思う。
- 学生のやる気を出させる方策について, もっとセッションを設けてほしい。(2)
- もっと踏み込んだ危機管理に付いての講座をお願いしたい。
- 大学組織の活性化
- 今年度は受講できなかったが, プレゼンテーションの方法について学びたい
- 上手な文章の書き方
- 組織理念・目標達成の効果的手法～組織における強制と自発の使い分け～
- コーチング
- 教員評価, 防災, 会計
- コミュニケーション能力向上のためのプログラム
- 大学の協定校などとやりとりする時に使える英文メール, レター研修。民間でもいいので四国にこういった研修があれば, とずっと思っています。
- 大学としての個人情報取り扱いについてはまだまだ議論が必要で, 基準がわかりにくい。
- 入試戦略等のプログラムを希望します。
- 例えば, 高等教育論, 現在の我が国の高等教育改革の方向性, 学校関係法規の講義・ワークショップ等もあればよいと思うが, それらはSPODに頼ることなく, 個別大学で自大学の状況に合わせて研修すべきものかもしれない。
- ラウンド・テーブルの時間を増やしてほしい。
- 職員のSDについて, 充実したセミナーを受講できました。しかし現在は教員の資質が問われていますので, 教員の視点に立ったSDというか, 教員がやるべき業務であったり, 科目提供の際にも, 学生へ提供する理想的な講義運営など, ベテランか初任者に問わず, 教員に対する指導をする内容を実施して頂きたいです。そこに, 事務職員も参加して, 一緒に受講したいです。
- 就業力育成にどう取り組むか。
- 障害学生プログラムでは主に聴覚障害, 視覚障害の学生への支援が中心であったが, 発達障害学生への支援方法を求めている教職員が多かったように思うので, 今後はそのようなプログラムも開講してほしい。
- ICTの活用について。(授業での活用, 業務システムへの活用など)
- FD・SDと人事評価に関するプログラム
- 参加型の研修, 他大学の人と実際に組んでアウトプットする研修はためになります。プレゼンテーションの研修も最後何かアウトプットするまでの時間があればさらに実になるのではないかと思います。

【FD】

- 教員管理職（学部長, 研究科長・・・）研修, 理工系授業における双方向型授業デザイン
- 様々な教育手法を学びたい
- 多角的な授業評価の仕方
- 特には無いが, 戦略的情報公開(公表), 学習ポートフォリオ, 今回, 山田先生が担当されたような内容のプログラム, 学部長・学科長クラス向けのワークショップ, 科研費獲得・・・あたりは需要がありそうな気がします。
- ラーニングポートフォリオ, 今回は「システム」中心ということでしたが, どこかで「具体的な運用方法」について, お話がおうかがいできればと思います。
- アクティブ・ラーニングについて
- 人文系の授業改善のための研修, というような分野別のFDプログラム
- 「本ぎらいの学生に文学をどう教えるか」
- 体系的授業を, 学生主体で行う方法を知りたいです。
- 教育実践研究の進め方など, 研究につなげていけるような取り組みがあるとよいなと思いました。（難しいかもしれませんが）
- 学生がチームで学習する手法
- 私自身が教員養成系に身を置いている関係上, 教員養成系の抱える問題(学外実習指導など)について話し合える場があれば面白かったかもしれない。また各大学FD担当者のみを集めたワークショップなどあれば面白かった。
- 文科省GPや科学研究費などの外部資金獲得方法に関するセミナーがあると良いかと思えます。（2）
- ミッションとポリシーについて, 設定のプロセスや現状と課題などの事例報告などをいただけるとありがたい。
- 学生（学習）ポートフォリオの活用, FD活性化のための組織論あるいは意識形成
- 教師の質の保証の具体化に係わる事項, テーマについて, 引き続き開講してほしい。
- フレッシュマンセミナーの授業設計
- グループワークを取り入れた初年次教育を実践するための考え方, 進め方など。

【SD】

- 管理部門（総務・会計）の研修プログラムの開発をしていただきたい。
- 経費の関係で, 日帰りが可能な1日研修で, 事務局長, 部長レベルの職員の研修。
- 企画力養成講座を受講させていただいたが, さらにその発展したプログラムがあれば受講したいと思う
- 労務関連について講義
- 参加者数の関係もあるでしょうが, もっとSD関係の研修の数が増えればと思います。

【プログラム全体への希望】

- 自身がFD, SDを開催するために活かせる, 実践的な内容のものを希望します。
- 会議, グループワークに実践できるファシリテータ養成講座
- 懇親会もいいのですが, もう少しプログラム中(受講中)に他大学との情報交換が出来ることを意識したものをに入れていただければ, 学びやつながりも深まるかと思います。
- FD, SDスタッフ養成を主目的とする研修をもう少し増やしてはどうでしょうか。

【その他】

- FD等に出てこない教員にどうやったらその意義を知らせることができるのか, 他の組織のノウハウなどがあれば知りたい。
- 大学教育とは何か? という根本的なテーマで議論してみたい
- 諸星裕氏が指摘していた内容について, 実際に実践している大学の担当者の話を聞きたい。
- 今回も充実した内容であり, 特に思いつきません。(6)
- SPOD連携校の取り組み紹介(プレゼン紹介)(2)
- SPODにおけるOJTの手法
- 少しズレるかもしれませんが, 教員が自己点検報告書(認証評価のための)を意識して, 記述の内容を考えてみるプログラムがあってもよいのではないかと思いました。他機関でそうした研修を実施しているところはありませんが, 認証評価専用研修として単発で開催されていて, なかなか参加されない場合が多い(敷居が高い?)と認識しております。様々な種類のプログラムを包含するフォーラムのなかで, 「意識づけ」レベルのその種のプログラムがあれば, 関心をもってもらえる教員を増やせるかもしれません。SPODらしい工夫したプログラムが可能なのではないのでしょうか。

SPODフォーラム自由記述欄 ご意見・ご要望とりまとめ

【内容について】

- ワークショップを取り入れたセッションは大変良いと思いますが、その割合が大きいものもあったと思われます。ワークショップが単なる情報交換にならないような工夫が必要かと思う部分もありました。
- デベロッパー研修がさらに充実するとよい。
- 今回参加したいプログラムが同じ時間に重なって、どちらかしか参加できなかったのは残念でした。今までいろいろなFD事業に参加しましたが、一番具体的でわかりやすく、明日から早速取り入れようという気持ちになりました。事業主体の方々には年数を重ねるとより高度なことをテーマにされる傾向かと思いますが、学内で共有できない問題を抱えている者にとっては、より具体的で身近なテーマを望みます。
- 各大学でのFD実施に伴う事例研究について、問題点などを知りたい
- 多彩な講師陣というわりには、一部を除き、特別魅力のある話はなかった。もともと聴講者もほとんど大学関係者が多いので、大学関係者から見れば「良かった」の意見が多いのだろうけど、とても社会に打ってでるほど内容のある特別魅力のあるものは少ない。
- 具体的な内容ばかりで、ここでしか受講することのできないプログラムが多数あり、大変刺激の多い研修になりました。
- 何回か参加したが、「グループワーク」を設けている内容の研修会が、一番勉強になった。
- 理論や知識だけを身に付けても、実際の業務改善には反映できないので、即実践できるヒントを得るためには、SPODの研修方法は大変有効であると思う。
- 今回は、FD・SD共同講義が多かったので、もう少しSD単独の講義があれば良かった。
- 身近でこのようなセミナーがあるとありがたいです。職員なのでなかなか抜けてはいけなところもありますが、ピンポイントに関心のあるところ、強化したいところを選んで受講できるのはありがたいです。

【運営について】

- 各大学の参加者人数の違い。参加者人数が少ない大学には、積極的に参加するように周知してほしい。
- SPODの事業自体がすばらしい発想の元に行われていると思います。ぜひ、この事業が今後も継続できるようなシステム作りを行って欲しいと思います。
- プログラムガイド中のFD/SDの分類は特に明記しない方がよいような気がしました。私は職員ですが、FDの中にも興味のあるものがありました。FDと書かれていることで受講対象外のように感じ選択から外しましたが、後で聞くと職員で参加した人がいるということでした。
- 関東にもこういうコンソーシアムがあればいいのですが、なかなか難しく、SPODの組織力がうらやましいです。
- 開催時期は適切だと思います。
- SPODの成功理由、課題等についてお話を伺いたいです。

【その他】

- 懇親会の内容特に料理について、ご検討ください。
- 懇親会で、適度に人々の交流を促すような仕掛けがあるとなおよい。
- 参加者同士がセミナー後も情報できるようなメーリングリストがあるといいのではないかと考えた。
- 本学の場合、学内教職員の SPOD への理解が浅く、出席への動機づけにまだまだ課題がある。
- 名札のひもの使い回しは衛生的でない。(特に夏場は考えてほしい)

【今後への期待】

- 今後も活発な継続を続けて頂き、教育改善の中核をなす組織として活躍されることを期待しています。
- 今年のフォーラムには、全国から参加者が目立って多かったようなので、今後も全国からの参加者が増えるようなFD・SDの研修や企画を期待している。(2)
- SD向けや大学ばかりでなく高専向けのシンポジウム、プログラムを開催してほしい。
- 全国の大学へより周知をし、全国の大学教職員が年に一度この時期に集まり、積極的に交流できる場となってほしいと思います。
- GP終了後も継続していただき、大変感謝しています。今後もますますのご発展を願っております。(3)
- 同じような規模(学生数・教員数・敷地面積等)の大学を集めてのフォーラム等
- 四国だけでなく、中国地方とも連携し中四国合同でのSD・FDを推進していければと思います。
- 加盟対象が四国外にも広がってくればいいのに、と思いました。
- エリア毎に支部会を立ち上げ研修という格式ばったものではなく、勉強会のような物があったもいいかと思った。

【感想】

- 良い授業をしている教員が参加しており、問題のある教員は参加していない。これでは逆である。学生の授業評価が悪い教員は強制的に参加させるべきであろう。
- できれば、次回も参加したいと思います(4)
- 業務の総量や内容を精査し、勤務時間を教育・研究に十分に充当できるようにするのが第一だと思います。その上でこのような研修に参加するような環境/制度にすべきと考えます。そうすればSPODへも自発的に参加するようになるでしょうし、効果も期待できるでしょう。せっぱつまった状況の中で半強制的に参加させられても、モチベーションも下がるし効果も半減するのではないかと思います。
- 受講したいテーマが同じ時間帯で並行していて1回のフォーラムでは受講できないので、今後とも同一テーマでも繰り返しでよいので続けていただきたい。(2)
- 今回の桜美林の先生は上品なSPODにはちょっと合わなかったかなあという印象です。
- 関係者の皆様、お世話になりました。ありがとうございました。(12)
- ときどき参加させてもらうのですが、準備が不十分なところがあり、受講生としても戸惑うことがあります。

- 大変有益な事業だと思うので、今後も続けて下さい。（7）
- 昨年から2年連続で参加しましたが、SPOD加盟校所属でないにもかかわらず、非常に参加しやすい雰囲気です、感謝しています。今回加盟校以外の参加者から参加費をとったことも当然だと思います。ぜひ今後も続けていただけるよう、願いたします。
- あまりにも優れた取組で驚いております。
- 有意義な時間をいただきました。（4）
- 当日は、多くのスタッフの方や先生方にご指導いただき、本当にありがとうございました。このSPODで学んだことを活用し、社会に還元できるように努力いたします。ありがとうございました。
- 本当にネットワークと一口に言いましても、容易なことではありません。その難関をクリアされ、高等教育のプロを輩出するために、創造的に取り組まれていること、機会をいただけることへの感謝を申し上げます。
- 他の大学の方とも交流し他大学の話も聞くことができる、とても貴重な時間だと感じています。
- 実習・演習ではなく、座学講習に参加しましたが、とても充実していました。他大学の方と交流する時間はありませんでした、満足です。
- 二年前にも参加したが、その時と今回とではスタッフの緊張感が違っているように感じた。講師との打ち合わせを会場で20分ほど前にすると、講師が机・椅子を並べ替えるなど、3年目で以前のような緊張感に不足しているように思えた。
- 各大学の垣根を超えて、更に教職協働で組織的に取り組んでおられるところに大きな刺激を受けた。本学ではまだまだ学内でも組織や職種間での垣根が存在するが、SPODのスタイルをモデルにして組織活性化に繋げたい。
- 刺激になるので、毎年参加させてもらっています。